



昼の部：内子中学校三年生の皆さん

三月十三日(月)、うちこ人権映画祭を開催しました。昼の部は内子中学校三年生と一般の方、夜の部は一般の方で、あわせて百四十五名の方に今回の上映作品である「梅切らぬバカ」を鑑賞していただきました。

うちこ人権映画祭 「梅切らぬバカ」

うちこ福祉館だより

令和5年
5月発行
電話・FAX
44-3410

五十歳を迎える自閉症の息子と都会の古民家で暮らす母親。自分亡き後の息子の人生を思う母の深い愛情を軸に、周囲との不和や偏見という問題を織り交ぜながら二人が生きていく様子を温かく描き出した作品です。

上映後に参加者から寄せられた感想についてご紹介します。

内子中学三年生

● 人権問題は難しいと改めて実感した。劇中だけでなく、現実で本当に起きているのが悲しい。

● 今は多様化社会で多様性を認める時代、自分自身も気を付けたい。

● 支える、共に生きることの難しさを実感。人間が等しく生きられる社会になってほしい。

● 実際に関わったらどう話したり、どう関わっていいか考えさせられた。他人事のように考えずしっかり考えるべき事だ。

● 今後忘れずにいたい。人権について考えることをやめないでいこうと思った。

● 障がいを持つ人と、街の人の

視点について知ることができた。自分自身の対応を考え直し、内子町を暮らしやすい街にするため自分ができることを考える良い機会になった。

● 途中の『普通の生活がしたい』と住民の方々が言ったシーンで、少し障がいを持つ人や高齢者への対応、不平等を感じさせないようサポートすることが大事だと改めて感じた。

● この映画を見て、偏見を持つたり、避けたりしないようにしたいと思った。

● 障がいを持ち生活することの大変さを知った。苦労を少しでも減らせるように、理解者になれるようもっと知りたい。

● ラストが描かれていない分、解決していない課題というか、暗い部分、汚い部分がより濃く頭の中に残った。メッセージ性が高い良い映画だと思った。

一般参加者

● 障がい者の家族と地域社会の共存の難しさを改めて考えさせられた。互いを理解することとは難しいが、その素晴らしさ、歩みよる努力、思いやりの心を育てる大切さを感じた。

● 偏見や差別はどこにでもあり解消が難しいのも現実。立場を変えれば誰でも当事者意識

を持つことができ、解消に向けて動くことが可能だと思う。

他にも沢山のご意見・ご感想をいただきました。今後も、当館では映画祭や各種事業を通じて人権意識ならびに福祉の向上に努めてまいります。

「わいわい喫茶」

毎月第一月曜日、午後一時より開催しております。

今年度の初回は四月十日(月)の開催でした。当館利用者、地域住民の方々との交流の場を目的に行なう事業です。当館職員にとっても貴重な時間となりますので、ご近所お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

次回は、六月五日(月)に開催いたします。



4月、コーヒーと手作りドーナツ

令和五年度事業

上半期(四月～九月)

四月 特別事業

隣保館デイスリーブ事業・福祉館わいわい事業・健康体操楽々フィットネス・押花教室・健康相談・わいわい喫茶・ミニデイスリーブ

地域交流促進事業

茶道・生花

休日開館事業

小学生習字教室

事業・貸館説明会・愛隣連総会

五月 健康講座・うちこ福祉館運営審議会・愛隣連女性部総会・研修会・隣保館職員新任者研修会

六月 町総合検診・四国ブロック隣保館女性職員研修

七月 全国隣保館職員四国ブロック研修会

八月 人権問題基礎講座・人権フォーラム

九月 館長等研修・実務担当者研修・愛隣連職員研修会

楽々フィットネス 開講しました

四月七日(木)にプラチナコース、八日(金)にゴールド・パールコースそれぞれの楽々フィットネス開講式を行いました。前年度の表彰について、プラチナコースの松田保子さん、パールコースの花岡益美さんが皆勤賞を受賞されました。おめでとうございます。受講生みなさん、次の一年も決して無理をせず、楽しく体を動かして健康づくりに取り組みましょう。



プラチナコースの皆さん



パールコースの皆さん



ゴールドコースの皆さん

愛媛県隣保館連絡協議会 定期総会

四月二十一日(金)、テクノプラザ愛媛テクノホールAで愛媛県隣保館連絡協議会の定期総会が開催されました。異動に伴う二十二名の新任職員の一人として、坂見も紹介いただきました。午後からは研修会に参加して、「私と部落問題」～同和教育を通して学んだこと～との演題で、(前)四国中央市土居隣保館館長 村上正哲氏による講演を拝聴しました。人権教育における同和教育の重要性と学習継続の意義を教えてくださいました。



異動のご挨拶

地域のみな様と一緒に大笑いし、時に悩みながら、気が付くと四年が経過しておりました。様々な催しにも、お客様として、運営スタッフとして関わっていただき、本当にありがとうございました。

農林振興課係長 樽古政子

みな様、初めまして。この度、農林振興課 農村支援センターより異動して参りました。

地域のみな様、職員の方々に力添えいただきながら、人権学習をはじめ様々な事業に取り組んで参ります。まずは、一日も早く顔と名前を覚えていただけるよう、頑張ります。

四年間大変お世話になりました。うちこ福祉館に集う仲間のひとりとして、ま

うちこ福祉館課長補佐 坂見治